

平成21年度 学修原論発表会を開催

2年生43人が、地域の安全と環境に関する研究成果を発表

平成21年10月17日に、本学科2年生を対象とした講義科目である学修原論の発表会を開催しました。この学修原論は、2年生が3～4名のグループに分かれて、各教員の指導のもとで「地域の安全と環境」に関するテーマにした調査研究を行うものです。その研究成果の発表会を毎年工学部学園祭の中日に開催しています。今年は12グループがそれぞれ以下のようなテーマで発表を行いました。

桐生小倉峠の岩石崩壊後の荒牧への道順

地元資源活用による環境改善

桐生初心者のためのチャリマップ

エコってなあ～に？

桐生城のなぞ

比較三原則～資金・人材・商店街～

CHANGE～私たちが快適に勉強するために～

密着！桐生キャンパス 駐車場24時

工学部キャンパスからのCO2排出量とその削減案

ゲリラ豪雨による洪水の形成について

桐生の家には神が住む

公共事業はすべてムダか？—中通り大橋の建設効果の検討—

どのグループもしっかりとしたポスターを作成し、来場者に熱心に研究内容を紹介していました。多くの学生さんにとって、ポスター発表は初めて経験だったのではないのでしょうか。大変お疲れ様でした。



来場者にポスターにまとめた研究内容を紹介